

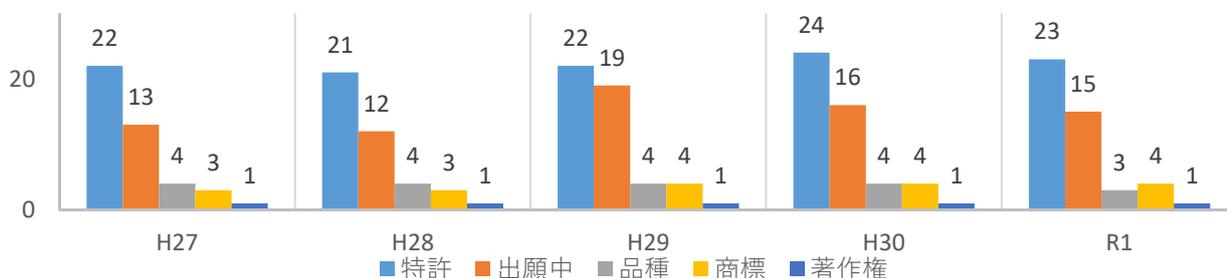
## ■背景と目的

環農水研では、様々な研究開発を行っています。職員が開発した発明について、その発明者としての権利を保証することにより、発明や研究に対する意欲の増進を図ること（職務発明規程1条）を目的に、規程類を整備するとともに、成果の効率的な社会実装を推進し、研究所の知的財産を適正に管理することを目指しています。

## ■事業の内容

研究支援グループでは、研究所保有の知的財産の管理（権利の保護）のみならず、実用化の促進（権利の活用）に対する取り組みも行っています。

### 保有件数の推移（知的財産権）



### 実用化されている特許権（一例） ※企業等との共有特許

空気を浄化



特許4759550  
(スギ材を用いた二酸化窒素の浄化方法)

ジューシー  
でも後味サッパリ



特許3987734  
(牛の飼育方法 (ウメビーフ))

高電圧で昆虫  
や花粉を捕足



特許4771310他  
(静電場スクリーン)

## ■今後の方向性

研究所の知的財産についての情報発信は、ホームページへの掲載のみならず、各種展示会にも積極的に出展するなど、企業・事業者の皆さまの目に広く触れていただき、マッチングの機会を模索しています。

研究所の知的財産が、実用化・社会実装されていくよう、今後も務めていきます。



### 展示会へ出展

(特開2020-139740 (水銀パッシブサンプラー))